

きそうなん？
、ちよつと
は上手なつても
んちはまだまだ
やね♡

♡仕上げに
でぎゅーつと
あげるから
りぴゅっぴゅ
なあ♡



今日はアナルセックスを
させてもらう。
いつもの個室に入ると
犬山さんの
大きなお尻が
眼前に飛び
込んできた。

ほら、お尻の
準備はバッチリやで♡
奥まですっかり綺麗に
なっとるから安心してなあ♡





準備をした影響か、
肛門が湿り気を帯びて
てらてらと光っている。
ぷっくりと膨らんで
艶めかしい
まるで性器の
様な肛門に
僕は思わず
生唾を飲み
込んだ。

ああ、お尻やし別に生で
かまわへんよ♡
私のケツ穴に思う存分
中出ししてなあ♡



(ぬぷぷぷっ)

肛門に陰茎の先を
あてがい腰を前に
だすと、すんなり
全部飲み込まれて
しまった。

ふふっ♡

最近はこちらも人気
やから少しゆるく
なっとるかもしれへんわ♡
でもちゃーんと
ケツ穴は締めとくから
大丈夫やで♡



(パンパンっパンパンっ)
犬山さんの大きなお尻は
僕の腰振りを
包み込んでくれる
ようだった。

ほら、パンパン♡
パンパン♡ふふっ、
○○君もちよっとは
腰振り上手なって
きたんちゃう？



(パンパンっパンパンっ)
さらに腰を振り続ける。
振動が伝わるたび
お尻や乳房が
震えていた。

うんうん♡上手上手♡
○○君のならいつも
出してるもんより
細いし余裕やで♡
遠慮せんと好きに
突いてなあ♡



その通りだが
少し悔しいので
必死になって彼女の
大きなお尻に
腰を打ち付ける。

おー、すごい勢いやね♡
頑張れ頑張れ♡

頑張っても犬山さんは
まだ余裕そうで僕の
腰振りに合わせ
キュウキュウと肛門を
引き締めてくれている。
まるでちんぽが肛門に
優しくあやされている
様だった。



そんな勢いが続くはずもなく
すぐ限界になって
しまった。

ええ、

もういきそうなん？

ふふっ、ちよっと

腰振りは上手なっても

おちんちんはまだまだ

みたいやね♡

ええよ♡仕上げに

ケツ穴でぎゅーっと

絞ってあげるから

たっぷりぴゅっぴゅ

しようなあ♡



はあい♡ぴゅっぴゅっ♡

んっ出とる出とる♡
ケツ穴でもしっかり
わかるでっ♡

うんうん♡
溜まったザーメン
ぜっんぶケツ穴に
無駄撃ちしよなっ♡

犬山さんの肛門に
搾り取られるように
精液を全て吐きだした。



ふふっ♡おつかれさん♡
もうお尻の中が
ぱんぱんやあ♡
ケツ穴から少し垂ঃ

あーあかん、
これ少し動いたら
出てまうわ♡
飛び散らんように
ひり出すから
ちよっとそこ
避けといてなあ♡



んっ♡
（ぶびゅ♡
ぶりゅりゅっ♡
ぶほっ♡）
（びちびちっ
ぼたたっっ♡）

犬山さんの肛門から
下品な音とともに
僕のザーメンが吹き出す。
床にはザーメンの小さい
水たまりが出来ていた。



大丈夫？かかってへん？
いや、恥ずかしい音
聞かれてしもうたね♡
えっ興奮する？
ふふっ○○君は
変態さんやね♡

後は私が
片付けとくから、
それじゃあ
また明日
よろしくなあ♡

犬山さんのお尻と肛門の感触、
肛門から精液を吹き出す姿と
音を記憶に焼き付けるように
何度も思い返しながら
家路についた。